

# 法政名所巡り

## 市ヶ谷キャンパス編

### —見学全般に関わる諸注意—

- 法政大学の学生としての自覚を持ち、マナーを守り、他の見学者の迷惑にならないように心がけること。
- 各訪問地の規則及び注意事項を厳守すること。
- 見学の際は学生証を携帯し、提示を求められた場合は、必ず応じること。
- 写真やビデオは許可なく撮影しないこと。また、撮影したものを無断で、インターネット等にアップロードしないこと。
- 車道に接する場所は、車等の往来にくれぐれも注意すること。

### —ご協力企業・法人一覧—

(50音順、敬称略)

- アンスティチュ・フランセ東京
- 護国寺 (写真提供)
- 最高裁判所 (写真提供)
- 雑司ヶ谷霊園
- 駐日メキシコ合衆国大使館
- 千代田区
- 東京大学
- 日比谷図書文化館
- 法務省 (写真提供)
- 松本楼

### 法政名所巡り —市ヶ谷キャンパス編—

監 修：法政大学史委員会  
 編 集：HOSEIミュージアム事務室  
 (2020年4月1日より)  
 〒102-8160  
 東京都千代田区富士見 2-17-1  
 TEL 03-3264-6501  
 FAX 03-3264-6504  
 発 行：法政大学  
 発行日：2013年4月  
 2020年3月31日改訂  
 2024年2月29日改訂  
 印 刷：(株)エイチ・ユー

本リーフレット(2024年2月29日改訂版)は、  
 馬場憲一氏(法政大学名誉教授・元法政大学史委員会委員)  
 からのご寄付により作成いたしました。

## 1 雑司ヶ谷霊園

- ① 都電雑司ヶ谷駅【都電荒川線 (出口 B2)】より徒歩約 1 分
- ② 護国寺駅【東京メトロ有楽町線 (出口 1)】より徒歩約 10 分
- ③ 東池袋駅【東京メトロ有楽町線 (出口 5)】より徒歩約 10 分



## 2 護国寺

- 護国寺駅【東京メトロ有楽町線 (出口 1)】より徒歩約 1 分



## 3 東京大学本郷キャンパス (梅謙次郎追慕植樹碑、古市公威銅像)

- ① 東大前駅【東京メトロ南北線 (出口 1)】より徒歩約 5 分
- ② 本郷三丁目駅【東京メトロ丸の内線 (出口 2)】より徒歩約 8 分



## 4 「法政大学発祥の地」の碑

- ① 御茶ノ水駅【JR 中央線・総武線、東京メトロ丸の内線】より徒歩約 3 分
- ② 新御茶ノ水駅【東京メトロ千代田線 (出口 B1)】より徒歩約 5 分
- ③ 神保町駅【都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 (出口 A5)】より徒歩約 5 分



## 5 神楽坂とアンスティチュ・フランセ東京 (旧・東京日仏学院)

- 神楽坂下：飯田橋駅【東京メトロ有楽町線 (出口 B3)、JR 総武線 (西口)】より徒歩約 3 分
- アンスティチュ・フランセ東京：飯田橋駅【東京メトロ有楽町線 (出口 B3)、JR 総武線 (西口)】より徒歩約 7 分



## 6 法政大学市ヶ谷キャンパス (アーネスト・サトウ記念碑、ミュージアム・サテライト)

- ① 市ヶ谷駅【JR 総武線、都営新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線】より徒歩約 10 分
- ② 飯田橋駅【JR 総武線、都営大江戸線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線】より徒歩約 10 分





## 7 外濠公園

- 市ヶ谷側：市ヶ谷駅【JR 総武線、都営新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線】より徒歩約1分（市ヶ谷側）
- 飯田橋側：飯田橋駅【JR 総武線、都営大江戸線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線】より徒歩約2～5分（飯田橋側）



## 8 番町文人通り

- ①市ヶ谷駅【JR 線、都営新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線】から徒歩約5分
- ②麴町駅【東京メトロ有楽町線（出口6）】から徒歩約5分



## 9 最高裁判所図書館

- ①永田町駅【東京メトロ有楽町線・南北線（出口2・4）】より徒歩約5分（南門・西門）
- ②半蔵門駅【東京メトロ半蔵門線（出口1）】より徒歩約10分（西門・南門）



## 10 駐日メキシコ合衆国大使館

- ①永田町駅【東京メトロ有楽町線・南北線（出口A6）】より徒歩約5分
- ②赤坂見附駅【東京メトロ丸の内線・銀座線】より徒歩約5分



## 11 法務省赤れんが棟 （法務史料展示室・メッセージギャラリー）

- ①有楽町駅【JR 山手線・京浜東北線】より徒歩約10分
- ②霞ヶ関駅【東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線（出口A1）】より徒歩約3分
- ③桜田門駅【東京メトロ有楽町線（出口5）】より徒歩約6分



## 12 日比谷公園（日比谷図書文化館、松本楼）

- ①有楽町駅【東京メトロ有楽町線（出口A10）】より徒歩約5分
- ②霞ヶ関駅【東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線（出口C4・B2）】より徒歩約5分



# 法政名所巡り 一市ヶ谷キャンパス編

『法政名所巡り一市ヶ谷キャンパス編』は、法政大学で学ぶ学生の皆さんに自分の大学の歴史をもっと知ってもらうため、市ヶ谷キャンパス周辺で、本学ゆかりの史跡や施設などをまとめたガイドマップです。ここに掲載されていない「法政名所」も探してみよう！

## 1 雑司ヶ谷霊園

護国寺に隣接する東京都の共同墓地。1874（明治7）年に東京府によって共同墓地に指定された。夏目漱石など著名人の墓が多く、本学関係者としては、漱石門下で大正・昭和期に本学文学部教授を務めた作家の森田草平（1881-1949）の墓がある（森田草平の墓と「終焉の地」の碑は、ほかに疎開して没した長野県阿智村にもある）。管理事務所で霊園MAPを配布している。



### 訪問時の注意点

ご遺族、一般の参拝者・墓参者の迷惑とならないよう配慮すること。

## 2 護国寺

護国寺は1681（天和元）年に五代将軍徳川綱吉の生母・桂昌院の発願によって創建された真言宗豊山派の寺院で、本堂と月光殿は重要文化財。明治の元勲の墓が多いことで知られ、本学関係者としては、渡韓中に急逝した法政大学初代総理で法学者の梅謙次郎（1860-1910）、長らく本学の校長及び教頭を歴任した富井政章（1858-1935）がここに眠っている。本坊の受付で墓地略図を配布している。



### 訪問時の注意点

ご遺族、一般の参拝者・墓参者の迷惑とならないよう配慮すること。



## 5 神楽坂とアンスティチュ・フランセ東京（旧・東京日仏学院）

神楽坂の由来には諸説あるが、周辺に位置する幾つかの神社の「神楽」（神事芸能）と関連があることは確かである。戦前から「法政ボーイ」（法政在学中のモダンボーイ）のたまり場であり、今でも六大学野球の優勝パレードは神楽坂で行なわれている。ちなみに、神楽坂の近くにある「アンスティチュ・フランセ東京」を設立した日仏会館と、日仏協会（東京仏学校を設立した仏学会の後身）は関係が深い。神楽坂が「プチパリ」と呼ばれているのは、同館の設立が一因とされ、フランス法学を起源とする本学との縁が偲ばれる。



## 6 法政大学市ヶ谷キャンパス（アーネスト・サトウ記念碑、ミュージアム・サテライト）

本学が現在地に移ったのは、1921（大正10）年である。現在の80年館（図書館）は、英国の駐日公使アーネスト・サトウ（1843-1929）ゆかりの屋敷があった所で、80年館裏には、同地の来歴と彼の功績を記した中村哲元総長（1912-2003）の筆による碑文が設置されている。2021年にはミュージアム・サテライト市ヶ谷が竣工。BT26階は法政大学創設（1880年）以来の校舎・キャンパスの変遷を伝える場、外濠6階は歴史と個性を伝える場となっている。特別展示・企画展示開催時には、展示替えが行われている。



## 7 外濠公園

大学前の外濠は、1629～1636（寛永6～13）年に江戸城の外濠として掘られたもので、城郭都市江戸の面影を伝えるものとして、国の史跡に指定されている。明治期には外濠の土手に「この土手登るべからず 警視庁」の高札が建てられ、長らく立ち入り禁止区域であった。これを開放したのが実は昭和初期の本学の学生達で、憩の場としての外濠の開放を求めて警察と駆け引きを繰り返す中、校友の市会議員の応援を得ることとなり、その結果、1927（昭和2）年8月31日、公園として利用されることになった。現在、「東京市外濠公園」と刻まれた石標が新見附橋脇の入口に残されており、当時、東京市の公園として開園されていた事実を伝えている。



## 8 番町文人通り

文人の町として知られる番町麴町界隈。現在の番町中央通りから大妻通りは「番町文人通り」と呼ばれ、作家らの旧居跡に記念碑が建てられている。本学関係者では、川喜田半泥子（陶芸家・実業家。卒業生で法政大学世界経済研究所に資金提供を行った川喜田荘太郎の父）、与謝野鉄幹・晶子夫妻（鉄幹は「法政大学第一工業高等学校」校歌の作詞者で、晶子は本学の講師就任を希望していたとされる。市ヶ谷キャンパス隣の植え込にも夫妻の旧居跡がある）の碑がある。ちなみに内田百閒（作家、元本学教授）も文人通りに居を構えていた。



### 訪問時の注意点

車道のため、車の往来に気を付けて見学すること。

## 9 最高裁判所図書館

最高裁判所図書館は、「裁判所唯一の図書館」として、全国の裁判所に対し、裁判に必要な資料を提供するほか、国立国会図書館の司法部門の支部図書館として図書館奉仕を行う法律専門図書館である（最高裁判所ウェブサイト）。同館のラウンジには、本学のボアソナード・タワー1階、26階の胸像と同じ本学所蔵の原型から作成されたボアソナードの胸像が建っている。



### 訪問時の注意点

一般利用者（学術研究を目的とする18歳以上）として最高裁判所図書館での閲覧が可能。利用希望者は、必ず前日の午後3時までに電話すること（TEL:03-3264-8537）。詳細は、最高裁判所ウェブサイトを参照。

## 10 駐日メキシコ合衆国大使館

駐日メキシコ合衆国大使館は「カサ・デ・メヒコ」（スペイン語で「メキシコの家」という意味）という名称の建築物で、1963（昭和38）年、本学55・58年館を中心とした市ヶ谷キャンパスの校舎を設計し、本学教授として工学部の礎を築いた建築家大江宏（1913-1989）と、青木繁（1927-）、メキシコ人の建築家ギジェルモ・ロッセル、ロレンツォ・カラスコとの共同制作である。大江と青木はその他「梅若能楽堂」、「伊勢神宮神楽殿」、「乃木会館」、「国立能楽堂」など日本を代表する建築物を多数設計している。



### 訪問時の注意点

公務の妨げにならないよう、塙の外から建物のみを静かに見学すること。



### 3 東京大学本郷キャンパス (梅謙次郎追慕植樹碑、 古市公威銅像)

東京大学本郷キャンパス内には、1911(明治44)年の梅謙次郎の一周忌にあたって、教え子らが植樹した木斛の木(梅が好んだ樹木といわれる)と梅を追慕するために建立された石碑がある。2010(平成22)年には、生誕150年没後100年を記念して、新たに「梅謙次郎追慕植樹碑」が建てられ、その周囲に木斛の木や梅の木が植えられた。また、同キャンパスには東京法学社とともに本学の前身である東京仏学校の初代校長心得、近代日本の土木工学の父古市公威(1854-1934)の銅像もある。



### 4 「法政大学発祥の地」の碑

本学の前身「東京法学社」は、1880(明治13)年4月、当時の神田駿河台北甲賀町19番地池田坂上(現在の日本大学病院の場所)に設立された。2011(平成23)年5月19日、これを記念する石碑が、杏雲堂病院横の明大通り歩道(千代田区神田駿河台1丁目8番地)に建立された。明治期の神田周辺では学校が多数建てられ、現在も明治大学、日本大学、専修大学など多くの大学が所在する学生街となっている。



## HOSEIミュージアム

### ミュージアム・コア

HOSEIミュージアムは、法政大学の価値とブランドを発信する拠点です。九段北校舎1階に、その中心的機能を有する「ミュージアム・コア」が設置されています。

**開館日:** 火曜日～土曜日

**開館時間:** 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

**休館日:** 日曜日、月曜日、祝祭日  
大学が定める休日(夏季休業・冬季休業)、入試期間

詳しくはミュージアムWEBサイトをご覧ください。  
URL: <https://museum.hosei.ac.jp>

### 11 法務省赤れんが棟 (法務史料展示室・ メッセージギャラリー)

赤れんが棟は、お雇い外国人エンデとベックマンの設計によって、1895(明治28)年に竣工したドイツ・ネオ・バロック様式の建築物で、外観が国の重要文化財に指定されている。同棟3階に位置する「法務史料展示室」には、「司法の近代化」、「建築の近代化」に関する史料が展示されており、本学の前身・東京法学学校教頭で、お雇い外国人のボアソナードの貴重な史料などが所蔵されている。



#### 訪問時の注意点

10名以上の団体での見学の際は要予約(TEL:03-3592-7911)。

### 12 日比谷公園 (日比谷図書文化館、松本楼)

日比谷公園内に位置する日比谷図書文化館は「伝統ある『旧・都立日比谷図書館』の図書館サービスを継承・発展させ、更に千代田区立四番町歴史民俗資料館の機能を移行し、千代田区の特徴を踏まえた新しい文化施設(同館HP)。千代田区の歴史を解説した常設展示には、展示物の一つとして、本学旧第一校舎の特大パネルがある。また、同公園内の1903(明治36)年創業のフランス料理店「松本楼」は梅謙次郎総理時代の諸会合にしばしば使用されている。

